

事務事業チェックシート

(1)

事務事業名称		乙訓休日応急診療所運営管理				担当所属名		乙訓休日応急診療所					
事務事業コード		0106030011				①事業期間		始期	昭和57	～	終期	継続	
事業区分		一般				総合計画		基本目標	1	政策	6	施策	3
②事業の性質分類 【該当に○】		○ ①ソフト関係事務事業(市民サービス)				○ ④施設等の維持管理的な事務事業							
		②整備関係事務事業				⑤行政の内部管理事務事業							
		③施設等の建設事務事業				⑥経常的な事務事業							
事業の実施根拠 (法令・条例・関連計画等)		乙訓休日応急診療所設置条例及び同条例施行規則											
③必須業務の有無 【選択】		無	内容 -										
④事業開始前の状況 (市民ニーズ・地域課題・社会情勢)		乙訓地域の住民に対して外科系応急治療は在宅当番医制度で対応していましたが、内科・小児科の応急的な診療を行う休日診療所開設の必要性がありました。											
⑤事業開始後の変化 (市民ニーズ・地域課題・社会情勢)		市の直営により日曜・祝日・年末年始の急病者に対し、内科・小児科の応急的な診療を継続実施しました。当診療所は、乙訓地域における休日医療の確保のため、日曜日・祝日及び年末年始における急病者に対して応急的な診療を行っています。											
事業の目的		休日でも適切な医療をうけられることにより、乙訓地域の住民が安心感を持つとともに住民の健康保持を支援します。											
事業の内容		内科・小児科の応急的な診療を行う休日診療所を維持運営します。											
⑥成果	指標名	受診者数											
	指標の推移	単位	22年度実績		23年度実績		24年度見込						
		人	4,465		4,833		4,500						
⑦対象の状況	対象名	市民、周辺住民											
	対象の推移	単位	22年度実績		23年度実績		24年度見込						
			人	149,312		148,767		149,000					
将来の動向		対象人口は、ほぼ変わりません。											
⑧【収入】			(円)		22年度決算		23年度決算		24年度予算				
	使用料・手数料				16,500		15,000		5,000				
	国支出金(補助率 / )				0		0		0				
	府支出金(補助率 / )				0		0		0				
	その他 (診療収入等)				51,519,437		51,353,276		61,470,000				
合計				51,535,937		51,368,276		61,475,000					
⑨【支出】			(円)		22年度決算		23年度決算		24年度予算				
	人件費	正規職員	従事人数(人)		1.0		1.0		1.0				
		人件費		8,000,000		8,000,000		8,000,000					
	再任用・嘱託職員	従事人数(人)		2.0		2.0		2.0					
		人件費		6,718,279		6,664,334		7,086,000					
	科目 (会計・款・項・目・細目)		03	01	01	01	485	22年度決算		23年度決算		24年度予算	
事業費(予算・決算)				36,817,658		36,703,942		46,389,000					
合計				51,535,937		51,368,276		61,475,000					
【収支】		(円)		21年度実績		22年度実績		23年度見込					
一般財源充当額				0		0		0					
対象者あたり一般財源充当額				0		0		0					
⑩主な事業費の詳細 (H23見込)		報償費18,809,000円、委託料10,856,000円、賃金4,209,000円、負担金1,355,000円、使用料及び賃借料1,872,000円、役務費572,000円、需用費等8,716,000円											

事務事業名称(再掲)		乙 訓休日応急診療所運営管理		担当所属名(再掲)		乙 訓休日応急診療所	
視点	点検チェックポイント			チェック・記述欄			
⑪ 必要性	市民ニーズや社会情勢に照らして、事業目的が事業開始時点と比べて希薄化していない			はい	-		
	市において目的や内容が類似した事業がない			いいえ	地域医療支援事業		
	市が事業を実施する必要がある			はい	-		
	市が中心となり事業を実施しなくては目的が達成できない(企業や市民、市民団体など行政以外が主体では目的が達成できない)			はい	-		
	市が事業を実施しなかった場合、多大なマイナスの影響がある			はい	-		
⑫ 優先性	事業の目的・内容・実施時期のいずれかに緊急性が認められる			はい	-		
	第3次総合計画第3期基本計画の重点テーマのいずれかを具体化させる事業である			はい	だれもが安心していきいきと暮らせる「健康・福祉」の増進		
	自治体間でのサービスの内容に差がつけられたり、地域の魅力が増す事業である			はい	休日診療の提供、生活の安心感		
	施策として遅れており、市の弱点を補完する事業である			いいえ	-		
⑬ 公正公平性	わかりやすい情報発信を行っている			はい	毎月、市広報紙など		
	適切な受益者負担を求めている			はい	-		
	多くの住民、広い地域に還元する事業である			はい	-		
⑭ 効率性	市民ニーズや社会情勢に対応するため、事業の目的を見直している			いいえ	-		
	市民ニーズや社会情勢に対応するため、事業の対象を見直している			いいえ	-		
	市民ニーズや社会情勢に対応するため、事業の手法を見直している			いいえ	-		
	具体的に説明できる費用対効果がある			はい	-		
⑮ 現状の事業手法【選択】		直営	委託先、または、その他の内容		-		
⑯ 近隣市町の状況【選択】		半数以上の市町が実施	他市町の事例		京都市急病診療所、八幡市休日応急診療所、宇治市休日急病診療所、城陽市休日急病診療所、京田辺休日応急診療所など		
⑰ 23年度の取り組み(昨年度)		医事業務を委託します。					
⑱ 24年度の取り組み(今年度)		医療スタッフの安定確保					
⑲ 25年度の取り組み(来年度)		医療スタッフの安定確保					
⑳ 今後の方向性【選択】		現状維持	今後の取り組み		休日診療に係る医療スタッフの安定確保		
21)民間委託化の可能性【選択】		無	委託候補先、または委託できない理由		公的な医療機関が休日診療体制に未対応		
22)市民や団体などとの協働の可能性【選択】		有	パートナー、または協働できない理由		地域医師会、地域薬剤師会		
可能性が有の場合	協働のメリットはありますか【選択】		はい	地域医療を連携して支えることができます。			
	協働のデメリットはありますか【選択】		はい	医療スタッフと運営確保に係るコストが発生します。			
	想定される協働の方法はありますか【選択】		はい	地域医師会や薬剤師会が休日診療所を運営します。			
	パートナーに求める役割は何ですか			休日診療など公的な要素を持つ医療機関の運営協力			
23)その他特記事項(留意事項など)		建物・施設管理については保健センターと一体化して維持管理を行います。					

事務事業チェックシート

(1)

事務事業名称		応急医療			担当所属名		乙訓休日応急診療所					
事務事業コード		0106030012			①事業期間		始期	昭和57	～	終期	継続	
事業区分		一般			総合計画		基本目標	1	政策	6	施策	3
②事業の性質分類 【該当に○】		○ ①ソフト関係事務事業(市民サービス)			④施設等の維持管理的な事務事業							
		②整備関係事務事業			⑤行政の内部管理事務事業							
		③施設等の建設事務事業			⑥経常的な事務事業							
事業の実施根拠 (法令・条例・関連計画等)		乙訓休日応急診療所設置条例及び同条例施行規則										
③必須業務の有無 【選択】		無	内容 -									
④事業開始前の状況 (市民ニーズ・地域課題・社会情勢)		乙訓地域の住民に対して外科系応急治療は在宅当番医制度で対応していましたが、内科・小児科の応急的な診療を行う休日診療所開設の必要性がありました。										
⑤事業開始後の変化 (市民ニーズ・地域課題・社会情勢)		市の直営により日曜・祝日・年末年始の急病者に対し、内科・小児科の応急的な診療を継続実施しました。当診療所は、乙訓地域における休日医療の確保のため、日曜日・祝日及び年末年始における急病者に対して応急的な診療を行っています。										
事業の目的		休日でも適切な医療をうけられることにより、乙訓地域の住民が安心感を持つとともに住民の健康保持を支援します。										
事業の内容		内科・小児科の応急的な診療を行う休日診療所を維持運営します。										
⑥成果	指標名	受診者数										
	指標の推移	単位	22年度実績		23年度実績		24年度見込					
		人	4,465		4,833		4,500					
⑦対象の状況	対象名	市民、周辺住民										
	対象の推移	単位	22年度実績		23年度実績		24年度見込					
			人	149,312		148,767		149,000				
将来の動向		対象人口は、ほぼ変わりません。										
⑧【収入】			(円)		22年度決算		23年度決算		24年度予算			
	使用料・手数料				0		0		0			
	国支出金(補助率 / )				0		0		0			
	府支出金(補助率 100 / 100 )				0		0		0			
	その他 (診療収入等)				2,777,385		4,729,181		3,714,000			
合計				2,777,385		4,729,181		3,714,000				
⑨【支出】			(円)		22年度決算		23年度決算		24年度予算			
	人件費	正規職員	従事人数(人)		0.0		0.0		0.0			
		人件費				0		0		0		
	再任用・嘱託職員	従事人数(人)		0.0		0.0		0.0				
		人件費				0		0		0		
	科目 (会計・款・項・目・細目)		03	02	01	01	485	22年度決算		23年度決算		24年度予算
事業費(予算・決算)				2,777,385		4,729,181		3,714,000				
合計				2,777,385		4,729,181		3,714,000				
【収支】		(円)		21年度実績		22年度実績		23年度見込				
一般財源充当額				0		0		0				
対象者あたり一般財源充当額				0		0		0				
⑩主な事業費の詳細 (H23見込)		需用費:医薬材料費3,486,000円、消耗品費60,000円、印刷製本費58,000円、修繕料30,000円、備品購入費:図書費30,000円、器具費50,000円										

事務事業名称(再掲)		応急医療		担当所属名(再掲)		乙訓休日応急診療所	
視点	点検チェックポイント			チェック・記述欄			
⑪ 必要性	市民ニーズや社会情勢に照らして、事業目的が事業開始時点と比べて希薄化していない			はい	-		
	市において目的や内容が類似した事業がない			いいえ	地域医療支援事業		
	市が事業を実施する必要がある			はい	-		
	市が中心となり事業を実施しなくては目的が達成できない(企業や市民、市民団体など行政以外が主体では目的が達成できない)			はい	-		
	市が事業を実施しなかった場合、多大なマイナスの影響がある			はい	-		
⑫ 優先性	事業の目的・内容・実施時期のいずれかに緊急性が認められる			はい	-		
	第3次総合計画第3期基本計画の重点テーマのいずれかを具体化させる事業である			はい	だれもが安心していきいきと暮らせる「健康・福祉」の増進		
	自治体間でのサービスの内容に差がつけられたり、地域の魅力が増す事業である			はい	休日診療の提供、生活の安心感		
	施策として遅れており、市の弱点を補完する事業である			いいえ	-		
⑬ 公正公平性	わかりやすい情報発信を行っている			はい	毎月、市広報紙など		
	適切な受益者負担を求めている			はい	-		
	多くの住民、広い地域に還元する事業である			はい	-		
⑭ 効率性	市民ニーズや社会情勢に対応するため、事業の目的を見直している			いいえ	-		
	市民ニーズや社会情勢に対応するため、事業の対象を見直している			いいえ	-		
	市民ニーズや社会情勢に対応するため、事業の手法を見直している			いいえ	-		
	具体的に説明できる費用対効果がある			はい	-		
⑮ 現状の事業手法【選択】		直営	委託先、または、その他の内容	-			
⑯ 近隣市町の状況【選択】		半数以上の市町が実施	他市町の事例	京都市急病診療所、八幡市休日応急診療所、宇治市休日急病診療所、城陽市休日急病診療所、京田辺休日応急診療所など			
⑰ 23年度の取り組み(昨年度)		医事業務の効率化による待ち時間短縮					
⑱ 24年度の取り組み(今年度)		医療スタッフの安定確保					
⑲ 25年度の取り組み(来年度)		医療スタッフの安定確保					
⑳ 今後の方向性【選択】		現状維持	今後の取り組み	休日診療に係る医療スタッフの安定確保			
21)民間委託化の可能性【選択】		無	委託候補先、または委託できない理由	公的な医療機関が休日診療体制に未対応			
22)市民や団体などとの協働の可能性【選択】		有	パートナー、または協働できない理由	地域医師会、地域薬剤師会			
可能性が有の場合	協働のメリットはありますか【選択】		はい	地域医療を連携して支えることができる			
	協働のデメリットはありますか【選択】		はい	医療スタッフと運営確保に係るコストが発生する			
	想定される協働の方法はありますか【選択】		はい	地域医師会や薬剤師会が休日診療所を運営する			
	パートナーに求める役割は何ですか			休日診療など公的な要素を持つ医療機関の運営協力			
23)その他特記事項(留意事項など)		-					